



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 年度 CS通信No.16 R6.3.13



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西海小学校で全校餅つき大会



西海小学校で、2月26日(月)、全校児童71人が参加して餅つき大会が開かれました。

この餅つき大会には、学校支援ボランティアなどの地域の大人の皆さんがたくさん駆け付け、杵に手を添えて一緒に餅をついたり、餅の丸め方を教えたりしました。

今回、餅つき大会の実施を呼びかけた町学校運営協議会副会長の花田恭一さんは、

「子どもたちにとって『楽しかった』という思い出に残る行事がやりたかった。子どもたちの喜ぶ姿を見ることができた。やって良かった。」と、笑顔で話していました。

舞戸小学校で卒業を祝う餅つき会



舞戸小学校では、3月1日(金)、全校児童188名参加の「卒業を祝う餅つき会」が開かれました。

この餅つき会には、学校支援ボランティア、保護者、地域の方々合わせて30名が、来校し、児

童の活動支援を行いました。

まず、男の方々が、炊きあがった餅米を杵でこねて、餅つきの準備をしました。

餅をつくのは、5年生と6年生の児童です。餅つきは初めての児童がほとんどなので、つき方を教えながら作業が進みました。

次に、1年生から順番に餅を丸める作業を行いました。餅を小分けにして、児童が1個ずつ丸めていました。

この作業には、女の方々が寄り添い、うまく丸めることができるように教えていました。

学校支援ボランティアの皆さんは、

「手伝いに来て楽しかった。」

「にぎやかにできて良かった。」

「つきたての餅はおいしかった。」

と、満足した顔で話していました。

感謝の気持ちを伝えた鯨中卒業証書授与式



3月9日(土)鯨ヶ沢中学校で、令和5年度卒業証書授与式がありました。

卒業生代表の答辞では、工藤春向さんが、ふるさと学習発表会の時に、地域の方から「あなた方は町の宝です。」

と言われ、勇気づけられたことを話しました。

次に、自分たちの感謝の気持ちを自分たちの言葉で伝えるために、卒業生全員が起立しました。

そして、教職員の皆さんへ、在校生の皆さんへ、来賓・地域の皆さんへ、保護者の皆さんへと順番に唱和して感謝の気持ちを伝え、それぞれの道を歩んでいくことを誓いました。